

平成26年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 メタウォーター株式会社	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 大瀬良 栄一（経営企画本部 広報部） TEL. 03-6853-7317 E-mail: oosera-eiichi@metawater.co.jp
代表者氏名 代表取締役社長 木田友康	TEL. 03-6853-7317 E-mail: oosera-eiichi@metawater.co.jp
（他薦の場合）上記団体を推薦する団体の名称	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 企業広報部門	事例名 「エコプロダクツ」への出展およびその後の展開を通じた楽しくわかり易い下水インフラの重要性発信。
---------------	---

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい）
 下水道プレゼンスアップの機会として日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ」に着目。2010年に初出展して以来、集客力と訴求力の高さを実感し4年連続出展。2012年からはGKPと連携し、より効果的に下水インフラの重要性PR。また、エコプロを契機に出前授業やイベントの共催などに発展。単なるイベント出展にとどまらない啓発活動となっている。

【エコプロダクツ概要】
 主催：日本経済新聞社 開催時期：毎年12月の3日間
 来場者数（2013年）：約17万人（うち小中高生約2万人）

年度	ブース来場者	経緯	主な発展事例
2010年	2,800人	メタウォーター単独出展	小学校から絵本の配付要請
2011年	5,112人	21世紀の下水協議会が隣接出展	小学校・自治会から絵本の配付要請
2012年	5,031人	GKPが隣接出展、初の連携実施	・ 神奈川総合高校環境シンポジウムで講義 ・ 「みどりとふれあうフェスティバル」に水循環の大切さをクイズ形式で展示
2013年	4,531人	GKPとメインゲート連結、パルティパツ共有	J1川崎フロンターレ エコイベント出展依頼

会場で水について学んでもらうための工夫

- ①「その場で学ぶ」 + ②「持ち帰って学ぶ」 + ③「遊び心」



クイズ形式と丁寧な説明



独自制作した絵本



クイズ正解のごほうび

エントリー事例の特徴

- 展示会出展のメインターゲットを小中学生および教師・親とし、これからの担う子供たちや教育者に下水道を含めた水循環の啓発を継続的に行い、成果を出している点
- 出展後、小学校や各種団体から出前授業やイベントの共催の依頼、絵本の配付要請等、イベント実施にとどまらない反響があった点。